

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

重症心身障害児（者）における精索捻転症の臨床的検討

[研究責任者]

小児外科 仲田 惣一

[研究の背景]

精索捻転症（精索捻転症）は、精索が精巣を軸に回転する事により、精巣への血流が途絶し陰嚢の急激な有痛性腫脹をきたす疾患で、治療が遅れると血流障害により精巣は壊死し機能を喪失するため、早急な処置を要する。捻転精巣を salvage できるか否かの critical time は 6 時間程度である。

当院で、重症心身障害児（者）の精索捻転症において捻転精巣の救出が困難であった症例を経験している。重症心身障害児（者）の精索捻転症は、訴えがはっきりしないなど健常者とは違う理由で、早期発見や捻転精巣の救出が困難なのではないかと推測している。しかし、重症心身障害児（者）の精索捻転症については症例報告が散見される程度でまとまった報告がない。

[研究の目的]

重症心身障害児（者）における精索捻転症の臨床的特徴を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2012 年 8 月 31 日から西暦 2017 年 8 月 31 日までに当院で、緊急手術を施行して術後診断が精索捻転症であった健常人患者さま及び、同じく緊急手術を施行して術後診断が精索捻転症であった重症心身障害児（者）さま

●研究期間

倫理審査委員会承認後、研究実施許可日から西暦 2018 年 12 月 31 日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、患側、停留精巣の有無、臨床症状（腹痛、陰嚢痛、陰嚢部腫脹、鼠径部腫脹、など）、身体所見、手術までの時間、気切の有無 人工呼吸器の有無、胃瘻の有無、横地分類（改訂大島分類） 肢位）

- ② 術前画像所見（診断デバイス、画像所見 精巣の血流確認の有無）
- ③ 術前診断
- ④ 術中所見（捻転の度数 Bell-clapper deformity の有無）
- ⑤ 病理学的所見（組織学的所見）
- ⑥ 治療（固定術、摘出術）
- ⑦ 予後

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

小児外科 医師 仲田 惣一

電話 086-294-9911（代表） FAX 086-294-9255